



**西小埜の郷土芸能
女装で踊る「けらおどり」**

8月18日(土)、西小埜地区の児童公園で、地区の親睦と家内安全・豊作を願う「けらおどり」が、西小埜一区親睦会によって行われました。

このおどりは、約260年の歴史を持つ同地区の郷土芸能で、農民一揆で死罪となった村人の供養が始まりとされています。着物や化粧で女装した男衆が腰を深くかがめ、土をかき回す昆虫の「おけら」のしぐさを取り入れたリズムカルな踊りです。

当日は、地域の方など100人以上が参加し、けらおどりのほかに、岩瀬よいとこ、石投げ踊りなどで夏の夜を楽しみました。

**今年は見事優勝
47kgで見事優勝**

堤上生活改善センター(堤上地区)で桜川かぼちゃ会主催の第13回桜川かぼちゃ会品評会が開催され、47kgのカボチャを出品した深谷哲夫(堤上地区)さんが優勝しました。

出品したカボチャは「アトランティック・ジャイアント」という品種。巨大なカボチャとして知られているもので、今年も26名が出品し、その重さを競いました。

出品者は、「今年は日照りが続いたため、例年より小振りなカボチャになってしまったが、形はきれいな形をしている。」などと話していました。



桜川かぼちゃ会品評会に参加した皆さんと出品した自慢のカボチャ

**エンケイマカベ(株)と市が
災害時の井戸水供給協定を締結**

真壁町下小幡地区のエンケイマカベ(株)(成田利夫 社長)と桜川市が災害時における井戸水の供給協力協定を締結しました。

社内に40mの深井戸を所有する同社は、昨年の東日本大震災時、市内上水道が広範囲で断水し、市民生活に大きな支障をきたした際に、その井戸水を社員に提供しました。

この経験をふまえ、「災害時には、地域住民の皆様にも広く利用してもらいたい。」との成田社長の意向から、今般、供給協力協定締結の運びとなりました。



エンケイマカベ(株)の成田社長(写真左)と中田市長(写真右)は、井戸水の供給協力協定を締結した後、力強い握手を交わしました。

**いつもの農村公園に
感謝を込めて芝の張替作業**

8月5日(日)、真壁町桜井地内の桜井農村公園多目的広場で、傷んだ芝生を張り替える修復作業が行われました。

作業は、サッカーチーム真壁ジュニオールの子ども達と保護者の皆さんのほか、桜川・桃山中学校のサッカー部員あわせて約100名が参加して約半日をかけて行われました。

今回、張り替えた芝は、真壁ジュニオールの善意により寄付されたものです。きれいな芝生の広場で、これからも子ども達は運動などに汗を流すことができます。



炎天下、子ども達と保護者などの協力で傷んだ芝を剥がし新しい芝に張り替える作業に汗を流しました。



**桜川Jr.バドミントンクラブが
全国大会・関東大会で活躍**

熊本県八代市で開催された第13回全国小学生ABCバドミントン大会に、茨城県選抜(男・女各3名)の1人として桜川Jr.バドミントンクラブの萩原菜結さん(羽黒小4年)が出場。ベスト16という立派な成績を残しました。

また、千葉県で行われた関東オープンダブルス大会では、6年男子ダブルスに齋藤叶汰・平田輝ペア、同じく女子ダブルスに小池由華・景山紫帆ペアが出場し、ともに第3位という好成績を収めました。

選手たちは現在、年内の関東大会・全国大会に向けて毎日練習に励んでいます。

**サマーコンサート
inサンホーム真壁**

特別養護老人ホーム「サンホーム真壁」(下谷貝地区)で、今年も入所者とその家族のみならず、一流の音楽を楽しんでもらおうと、第5回サマーコンサートが開催されました。

コンサートは、現在活躍中の演奏家3人(ヴァイオリン/小山啓久さん、フルート/坂元理恵さん、ピアノ/竹内聡さん)と今回はソプラノ/前原加奈さんを特別ゲストに迎え、ボランティアで民謡や懐メロなどの演奏や歌の披露のほか、約150人の来場者みんなで合唱も行うなど、楽しい時間を過ごしました。



(写真右から)坂元理恵さん、前原加奈さん、小山啓久さん、竹内聡さんの素晴らしい歌と演奏に入所者のみなさんは耳を傾けていました。

**岩瀬カラオケ連合会が
ボランティアで環境整備活動**

桜川市岩瀬カラオケ連合会(鈴木 勝会 長/会員450人)は、役員23人が参加して羽黒地区の農村環境改善センターの環境整備活動を行いました。

これは、同連合会がカラオケの活動拠点として同センターを活用していることから、日頃のお礼の気持ちを込めて駐車場の植込みの手入れやセンター周囲の草刈りなどを実施しました。この活動は今年で6年目を迎え、毎年8月初旬に実施しています。

「これからも、施設を利用する一団体として気持ちよく利用できるよう取り組んでいきます。」と鈴木会長は話していました。



カラオケ連合会役員の方々による環境整備活動で農村環境改善センターはきれいになりました。

**新たな物語
「真壁、八七まる市」が始動**

9月1日(土)真壁地区の仲町休憩所付近で「真壁八七まる市」が開催されました。

この市は、市民団体である真壁八七咲き社中、桜川本物づくり委員会、真壁高校の生徒たちが協働して行ったイベントで、市の目玉は、真壁高校の生徒たちが育てた朝採り野菜や甘い評判の梨の即売で、わずか30分で完売するほどの人気でした。

また、子ども達の思い出づくりとして流しそうめんやシャボン玉、紙飛行機飛ばしも行われ、会場は賑わっていました。

次回の「真壁、八七まる市」は、11月に開催される予定です。お楽しみに!



真壁地区の仲町休憩所付近で行われた「真壁、八七まる市」は多くの方で賑わっていました。